

取扱説明書

DC FLOOR FAN

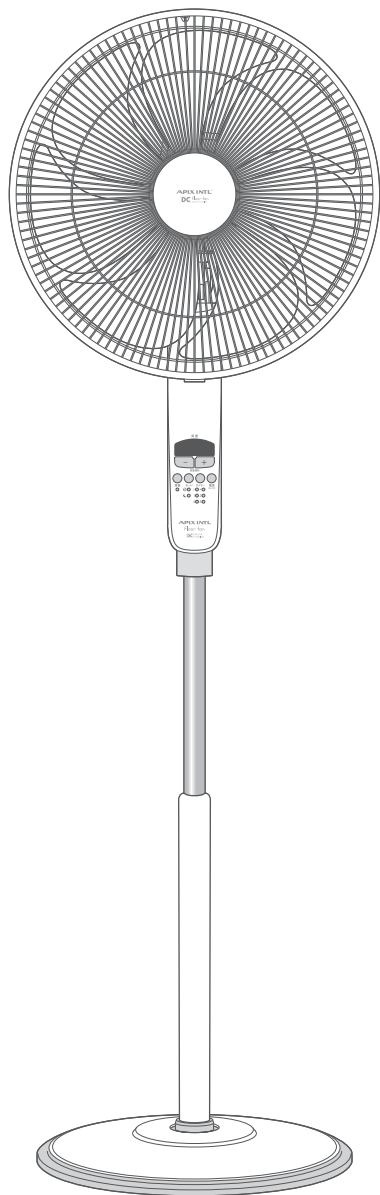
DCフローア扇風機

品番

AFL-287R

DCとは…直流モーターを示します

- この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよく読み、ご理解した上でご使用ください。
- 取扱説明書及び、保証書は大切に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。



リモコン

安全上のご注意	01-02
各部のなまえ	03-04
組み立てかた	05-06
ご使用方法	07-08
お手入れ	09
保管について	10
故障かな?と思ったら	11
仕様	12
アフターサービス	13
メモ	14
保証書	裏表紙

保証書付

この取扱説明書(裏表紙)には保証書が
ついています。必ず捺印をお受けください。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。


This appliance is designed for domestic use in Japan only
and can not be used in any other country.


安全上のご注意



必ずお守りください!



ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った使い方、取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

図記号の例   記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

  記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

- 本体内の機械部や隙間にピンや金属等の異物を入れないでください。
感電・ショートなどの原因になります。
- 本体に水をかけないでください。高温多湿で水のかかる恐れのある場所では使用しないでください。
漏電して感電・ショートなどの原因になります。
- 電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。
感電・火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったりたばねたりしないでください。
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
感電・火災の原因になります。他の器具と併用すると、分岐コンセント部分が異常発熱して発火することがあります。
- 電源プラグに付着した汚れやほこりなどは、定期的に取り除いてください。
汚れやほこりが残ったまま使用すると、異常発熱したり故障の原因になります。
- 海外では使用しないでください。
日本国内のAC100V電源以外で使用すると、感電・火災の原因になります。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。
- 修理技術者以外は、絶対に分解したり、改造したりしないでください。
発火したり、異常動作で感電したり、けがをする恐れがあります。



禁止



プラグを抜く

- お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
感電・ショート・けがの原因になります。

⚠ 注意



禁止

- 水平でない場所や不安定な場所、振動のある場所や棚の上など高所に設置しないでください。
本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。
- 動作に異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
感電・ショートする恐れがあります。電源プラグを抜き、当社アフターサービスにご連絡ください。▶13ページ参照
- 風を長時間、身体に当てないでください。
健康を害する恐れがあります。特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。
- たたいたり、落としたり、強い衝撃をあてないでください。
故障・けがの原因になります。
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。
感電・けがをする恐れがあります。
- 次の場所では使用しないでください。
発火して火災や爆発の原因になります。 ・ ガスレンジやストーブ等の炎の近く ・ 引火性のあるガスや液体の近く
・ 雨や水がかかるところ ・ ほごりや金属粉の多い場所 ・ 油などの多い場所
- 障害物(カーテン等)が周囲を遮る場所では使用しないでください。
障害物が送風口を遮り、故障・事故の原因になります。
- 衣類や布等を本体にかがせないでください。
故障・事故の原因になります。
- 風に吸い込まれやすいもの(紙・ひも)の近くで運転しないでください。
吸いこまれたものが可燃性の場合、発火する恐れがあります。
- ガード内やモーター可動部に指などを入れないでください。
けがをする恐れがあります。特に小さなお子様はふれないよう注意してください。
- 異常な振動が生じた場合は運転しないでください。
振動によって転倒や、高所から落下してけがをする恐れがあります。
ガードや羽根の取り付けが悪い場合は、再度正しく取り付けてください。
- お手入れの際は、本体を水洗いしないでください。
故障の原因になります。
- 本体を横にねかせて使用したり、スタンドをつけずに電源を入れて運転させないでください。
故障・事故の原因になります。
- お手入れの際は、ベンジンやシンナー、アルコールなどを使用しないでください。
火災・故障の原因になります。
- 組立前に電源を入れたり、羽根・ガードをつけずに運転しないでください。
故障・事故の原因になります。
- ガードにテープやシールなどを貼らないでください。
故障・事故や異音の原因になります。
- 本製品は室内用及び家庭用です。屋外や業務目的で使用しないでください。
故障の原因になります。



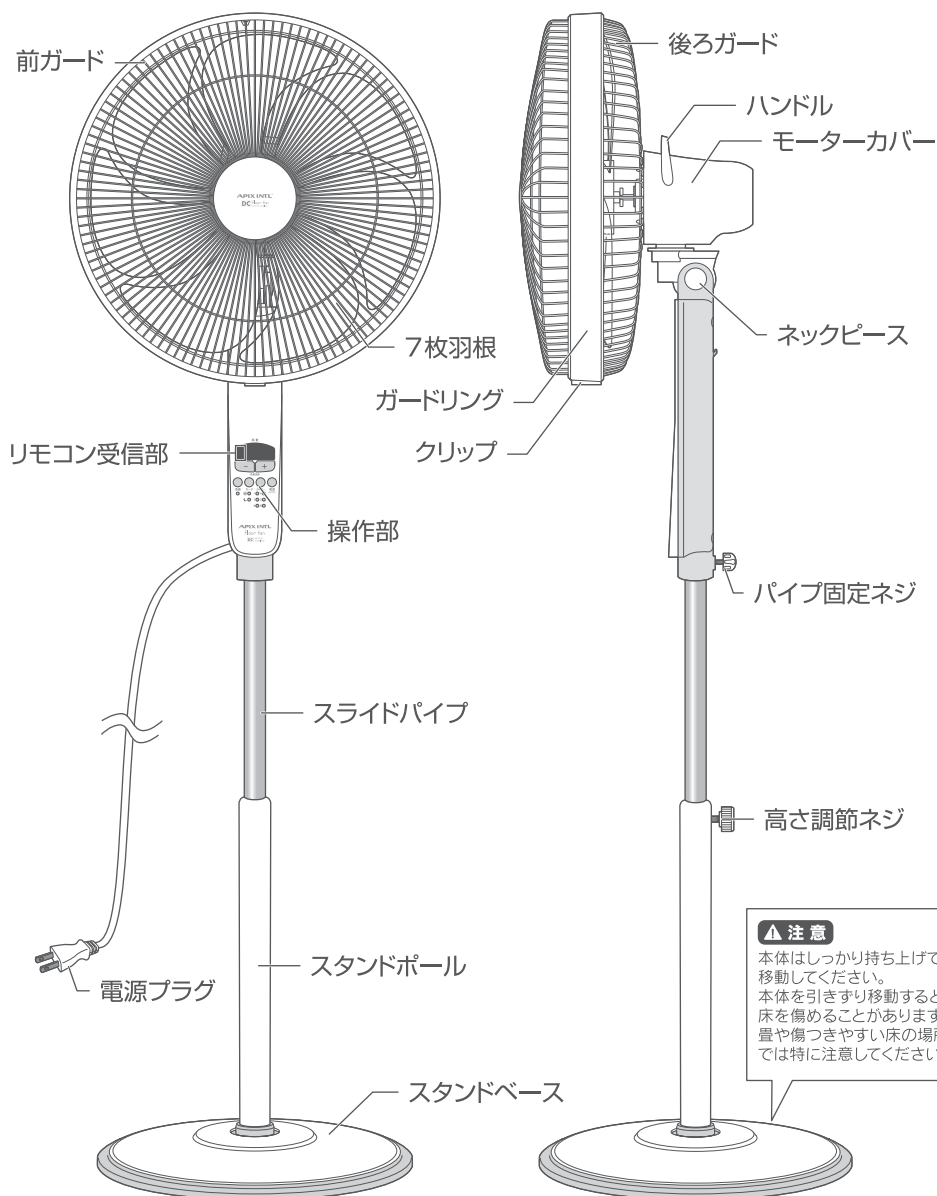
プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。
電源プラグのホコリなどは定期的に取り替えてください。
感電・ショート・発火の原因になります。

各部のなまえ

正面図

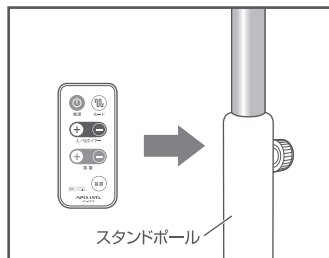
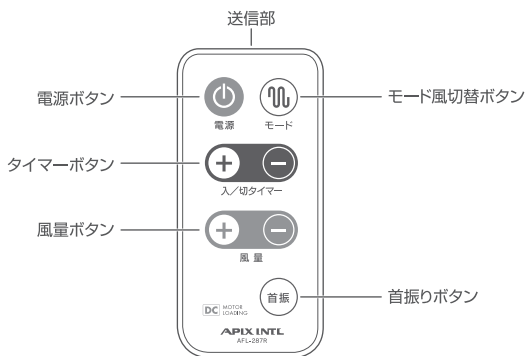
側面図



※イラストと実際の商品は、若干異なる場合があります。

各部のなまえ(つづき)

リモコン

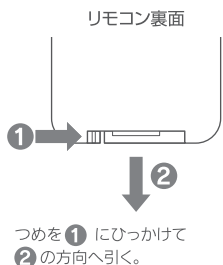


リモコンは背面にマグネットが内蔵されておりスタンドボールに取り付けることができます。

■リモコンに電池を入れる場合や、交換時は次のように行ってください。

付属の乾電池はモニター用ですので寿命が短い場合があります。
早めに新しい電池と交換することをお勧めします。

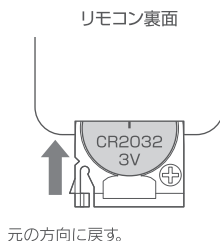
1 カバーを取り出す



2 電池を正しく入れる



3 カバーを戻す



⚠ リモコンに関するご注意

- 本体との距離が3m以内の場所から、本体リモコン受信部に向けてボタンを押してください。本体とリモコンの間に障害物など遮るものがあると、リモコンが正しく動作しません。
- 電池が消耗してくると、正しく動作しなかったり、反応が鈍くなります。その時は新しい電池と交換してください。
- リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。故障やショートの原因になります。

⚠ 電池に関するご注意

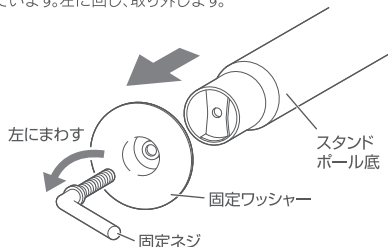
- 電池は、使い方を誤ると電池の液漏れなどにより製品が腐蝕したり、電池が破損したりする恐れがあります。
- 電池は必ず＋を確認して正しく入れてください。
- 電池は、充電、分解、改造、加熱しないでください。また指定の電池以外には入れないでください。
- 電池を交換する際は、新しい電池と交換してください。古くなった電池を使用しないでください。
- 使い終わった電池は、お近くの電池回収箱設置所に持っていか、各地域の自治体の指示に従って処理をしてください。
- シーズン終了時には必ず電池を抜いて保管してください。

組み立てかた

1. 本体を組み立てる

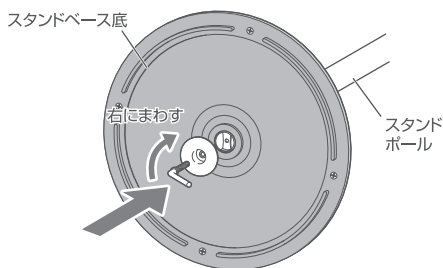
① スタンドポール底の固定ネジを外す

出荷時はスタンドポール底に固定ネジ、固定ワッシャーがついています。左に回し、取り外します。



② スタンドベースにスタンドポールを固定する

スタンドベースにスタンドポールを差し込み、底面から固定ネジ、固定ワッシャーでしっかりと固定します。

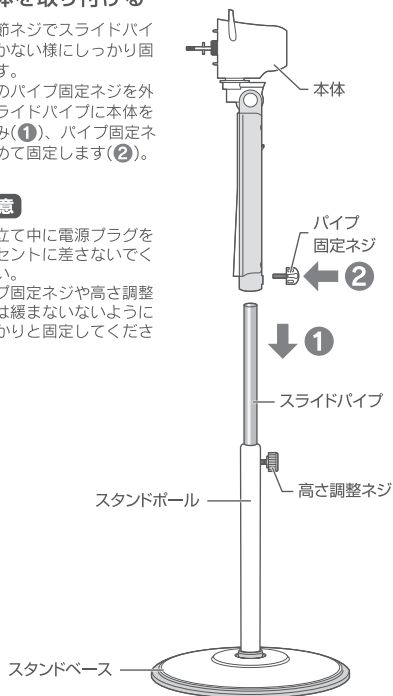


③ 本体を取り付ける

高さ調節ネジでスライドパイプが動かないようにしっかりと固定します。本体部のパイプ固定ネジを外し、スライドパイプに本体を差し込み(①)、パイプ固定ネジをはめて固定します(②)。

▲ 注意

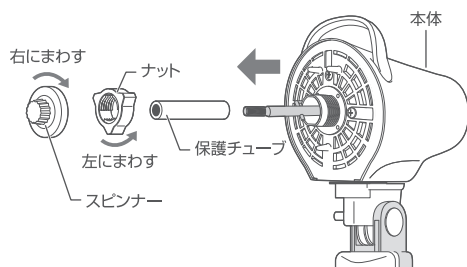
- 組み立て中に電源プラグをコンセントに差さないでください。
- パイプ固定ネジや高さ調整ネジは緩まないようにしっかりと固定してください。



2. 後ろガードを取り付ける

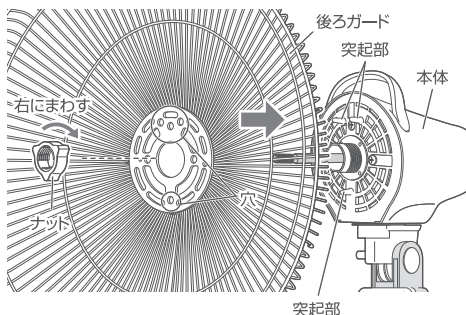
① スピナー、ナット、保護チューブを取り外す

出荷時、下記3部品が取り付けられていますので、取り外します。スピナーは右に回すと外れ、ナットは左に回すと外れます。保護チューブは保管時に使用しますので、捨てずに保管してください。



② 後ろガードをはめ込み、ナットで締める

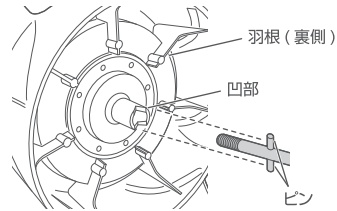
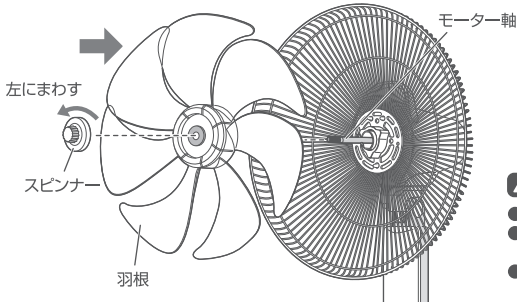
本体の突起部と後ろガードの穴を合わせてはめ込み、ナットを右に回して締めます。



組み立てかた(つづき)

3. 羽根を取り付ける

羽根をモーター軸に通した後、羽根を押さえながらスピナーでしっかり締めます。



羽根取り付け時は、羽根の凹部とモーター軸のピンを合わせて取り付けてください。

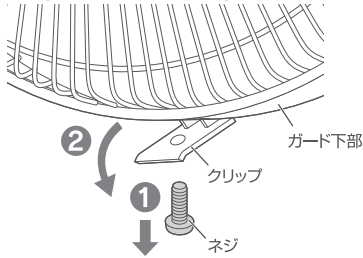
▲注意

- 羽根のふちで指などをけがさないよう注意してください。
- ガード止めのナットやスピナーは運転中にはずれないよう、しっかり締め付けてください。
- 羽根のシール(指入れ禁止)は剥がさないでください。(事故防止のための、法律で定められた表示です。)

4. 前ガードを取り付ける

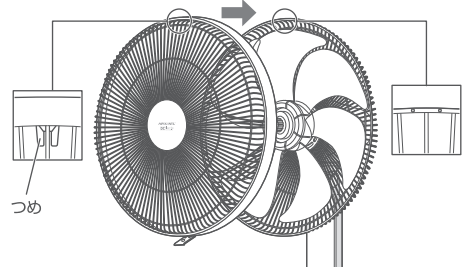
①クリップを開く

前ガードクリップ部のネジをマイナスドライバーで取り外し(1)、クリップを開きます(2)。



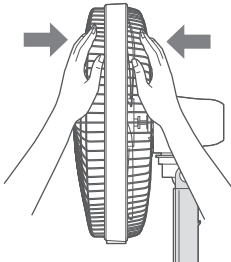
②位置を合わせて前ガードを取り付ける

うしろガードの目印(2本線)の位置につめを差し込みます。



③外周をはめ込む

前ガードと後ろガードの止め部(8ヶ所)をクリップ周りから順にはめ込みます。

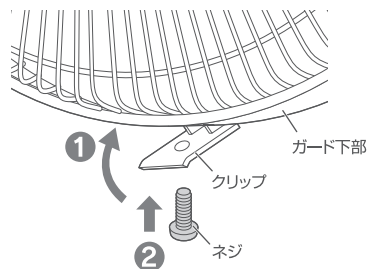


▲注意

指などを挟まないように注意してください。

④クリップを閉じてガードを固定する

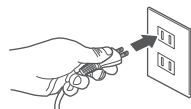
クリップを閉じ(1)、上記部分にある穴に付属のネジをマイナスドライバーで固定します(2)。



ご使用方法

電源プラグを家庭用(100V)コンセントに差し込みます。

操作は、本体操作パネルとリモコンのどちらでもできます。



1. 各ボタンの設定

電源ボタン

運転開始・運転停止をします

- 電源プラグを抜かない限り、再度電源を入れると前回使用時の設定で運転を開始します。(入/切タイマー、おやすみ風モードを除く)

風量ボタン

風量の切替をします(1:微風~12:強風)

- 【+】を押すと風が強く、【-】を押すと風が弱くなります。(最小:1/最大:12)
- 風量ボタンを押すごとに風量表示の数字が切り替わります。

モード風切替ボタン

モード風を切替えます

(連続→:リズム風→:おやすみ風→連続…)

- モード風切替ボタンを押すことにモード風表示ランプの点灯位置が切り替わります。

▶詳しくは8ページを参照

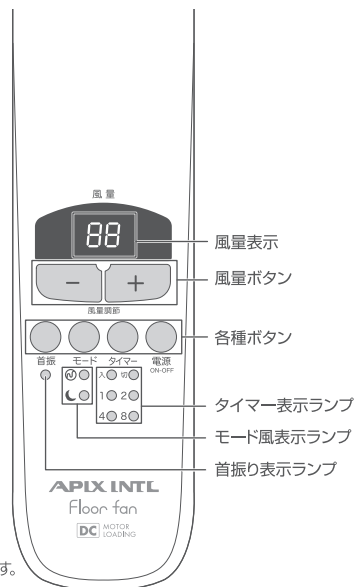
タイマーボタン

入/切タイマーを設定します

(1H→2H→4H→8H→解除→1H…の順)

- 設定した時間後に電源を入れたい/切りたい時に使用します。
- 入りタイマーは、電源切り時に、切りタイマーは電源入り時に操作できます。
- 入りタイマーを設定する時には、風量、モード風、首振りの設定もできます。
- タイマーボタンを押すことにタイマー表示ランプ点灯位置が切り替わります。
- 時間が経つとタイマー表示ランプの点灯位置が切り替わり、残りの時間を表示します。
- 設定を解除するにはタイマーボタンで解除するか、電源を入れなおしてください。

操作部



2. 首振り運転の設定

首振りボタン

首振り運転をします

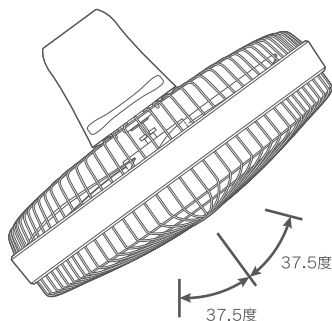
- 首振りボタンを押すことに首振り表示ランプの点灯が切り替わります。
- 電源プラグを抜くと首振り設定はリセットされます。

自動首振り角度:75度(片側37.5度)

広範囲に風を送ることができます。

▲注意

- 首振り停止時、または運転中に無理に方向を切り換えたりしないでください。故障の原因になります。
- 自動首振りを行うときは、周りにぶつかりそうなものや、大切な書類等がない十分に確認してください。
- 万一首振りをしなくなった場合、直ちに運転を止め、弊社アフターサービス(P.13)までご連絡ください。



ご使用方法(つづき)

3. モード風と風量の設定

●各モード設定により、生活に順応した風を選択することができます
一定のリズムにより風量を変更して自然に近い、心地よい風を送ります。

リズム風モード

モード切替ボタンで「:リズム風」にします。

●リズム風【強】

モード切替ボタンで「リズム風」にして風量表示が【3】の場合。

●リズム風【中】

モード切替ボタンで「リズム風」にして風量表示が【2】の場合。

●リズム風【弱】

モード切替ボタンで「リズム風」にして風量表示が【1】の場合。

おやすみ風モード

モード切替ボタンで「:おやすみ風」にします。

下記のようにリズム風を変更して運転します。

●おやすみ風【強】

モード切替ボタンで「おやすみ風」にして風量表示が【3】の場合
「リズム風:強」30分→「リズム風:中」30分→「リズム風:弱」が続きます。

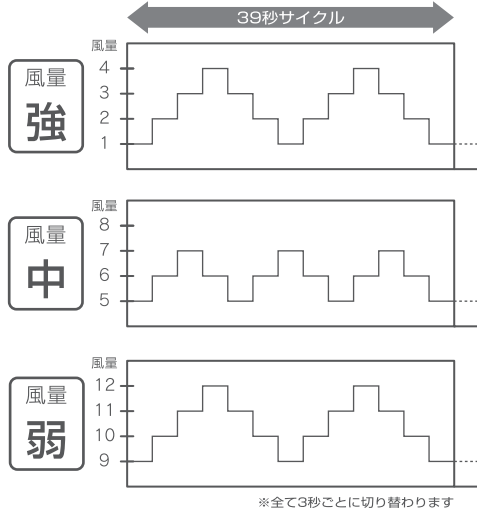
●おやすみ風【中】

モード切替ボタンで「おやすみ風」にして風量表示が【2】の場合
「リズム風:中」30分→「リズム風:弱」が続きます。

●おやすみ風【弱】

モード切替ボタンで「おやすみ風」にして風量表示が【1】の場合
「リズム風:弱」を繰り返します。

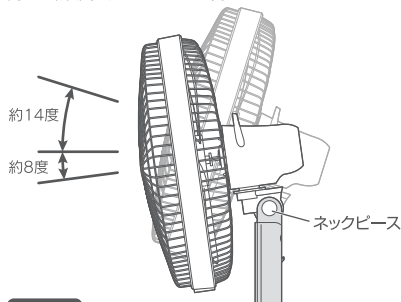
リズム風モードの動作



4. 上下風向き・高さを調節する

① 上下の角度を調節する

ネックピースを軸に手動で上は約14度、下は約8度まで向きを調節することができます。

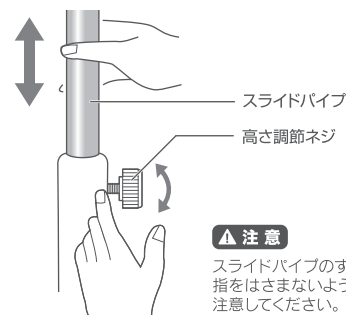


注意

無理に上下を切り替えたり、引っ張ったり、重圧をかけたりしないでください。故障の原因になります。

② 高さを調節する

高さ調節ネジをゆるめて、スライドパイプを手で持ち上げます。高さを決め、高さ調節ネジを締めます。



注意

スライドパイプのすき間などに指をはさまないように十分に注意してください。けがをする恐れがあります。

お手入れ

末永くお使いいただくために必ず定期的にお手入れを行ってください。(1ヶ月に1回が目安)
お手入れ前に運転を停止して電源プラグを抜いてください。

1. 本体のお手入れ

汚れがついたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを布につけ、よく絞ってから拭くと汚れがよく落ちます。

▲ 注意

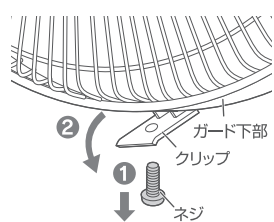
- シンナー・ベンジン・アルコール・アルカリ洗剤・みがき粉は使用しないでください。
- 使用後は、モーター軸などが熱くなっていますので、時間をおいてからお手入れを行ってください。
- 羽根・ガード・ナット・スピナー以外は、水洗いをしないでください。故障の原因になります。
- 本体内部に直接水や洗剤をかけて洗わないでください。感電や故障の原因になります。
- 長期間お使いになると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着する事がありますので、電源プラグを抜き、乾いた布で拭き取ってください。



2. ガード内部のお手入れ

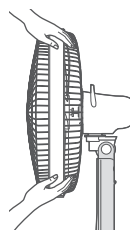
① クリップを開く

運転が完全に停止してからネジを外し(①)、クリップを開きます(②)。



② ガードのつなぎを外す

前ガードと後ろガードの止め部(8ヶ所)をクリップ周りから順に外します。

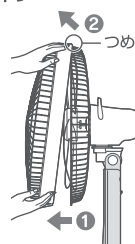


▲ 注意

外す際は、扇風機が転倒しないよう、しっかり本体を抑えて外してください。

③ 前ガードを外す

前ガード下側を手に引き(①)、上部のつめを外しながら斜め上方向に引きガードを外します(②)。

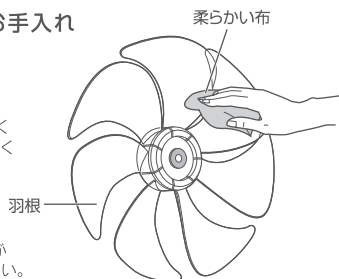


▲ 注意

外す時は必ず両手ではずしてください。落下等で破損やけがの原因になります。

④ 羽根・ガードのお手入れ

柔らかい布やガーゼ等でからぶきしてください。
中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを布につけよく絞ってから拭くと汚れがよく落ちます。

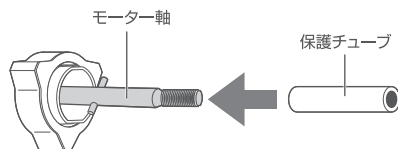


▲ 注意

羽根のふちで指などをけがしないよう注意してください。

⑤ モーター軸のお手入れ(収納)

保護チューブを取り付けます。
潤滑油などを塗っておくと、サビを防止することができます。



保管について

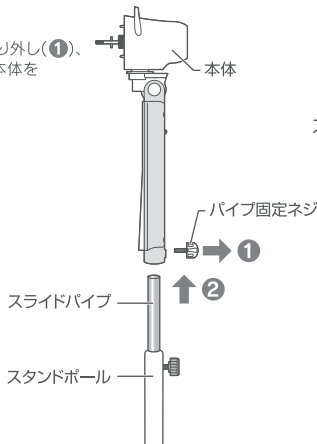
シーズン終了後は、必ずホコリを取るなどのお手入れを行ってから保管してください。

●9ページ「お手入れ」のようにガードや羽根をはずし、取付と逆の手順で取り外してください。

スタンド取り外し

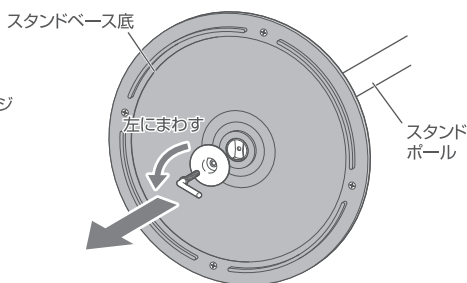
① 本体を外す

パイプ固定ネジを取り外し(①)、スライドパイプから本体を取り外します(②)。



② スタンドベースからスタンドポールを引き離す

底面の固定ネジ、固定ワッシャーを外し、スタンドベースからスタンドポールを引き離します。



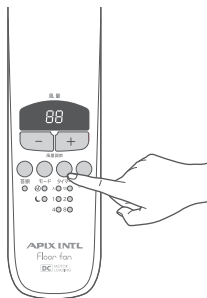
▲ 注意

- スタンドやガード、羽根などの取り外し中にけがをしないように注意してください。
- 本体や部品に付着した汚れを良く拭き取って保管してください。
- ビニール袋などに各部品を入れて、お買上げ時の箱に入れて保管してください。
- リモコンは電池を抜いてから保管してください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所に放置しないでください。変形や故障の原因になることがあります。

▲ その他の注意

電源ボタンを押す前に...
完全に組み立ててから
お使いください。

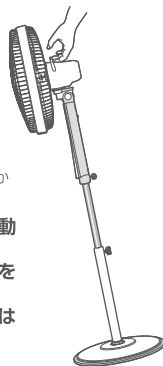
羽根・ガード・スタンドベースなどの
部品をつけずに「電源ボタン」
を押して、運転をしないでください。



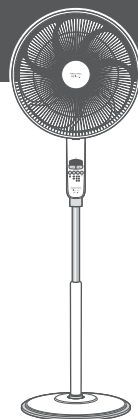
扇風機を移動する際は...
羽根が回転中は
移動しないでください。

かたつきや、はすれかけの箇所がないか
確認してください。

本体はしっかり持ち上げて移動
してください。
本体を引きずり移動すると床を
傷めます。
畳や傷つきやすい床の場所では
特に注意してください。



故障かな?と思ったら...



お願い

使用方法を間違えたりすると、次のような症状が起こり故障とされる場合があります。
お買い上げの販売店または、当社にご相談になる前に
下記の表でチェックしてください。

症状	原因	処置・確認
正常に運転しない	電源プラグが正しく差し込まれていますか?	電源プラグを正しく差し込んでください。
	切りタイマー機能が作動していませんか?	再度、電源を入れ直してください。
	正確に組立ててありますか? ガードと羽根が接触していませんか?	組立てに不備がないか確認して組立て直してください。
リモコンがきかない	電池の残量が少なくなっていますか?	付属の電池はモニター用ですので早めに新しい電池と交換してください。
	本体との間に障害物などありませんか?	本体とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
	電池の(+)(-)向きは正しくセットされていますか?	電池の向きを確認して正しくセットしてください。
異常音がる	羽根はしっかりと取り付けられていますか?ガードと羽根が接触していませんか?	組立てに不備がないか確認して組立て直してください。
	お手入れをしていますか? 羽根やモーター軸にホコリが溜まっていませんか?	お手入れをしっかりと行ってください。 (ホコリ等を取り除いてください)

仕様

品番	AFL-287R
品名	DCフロアー扇風機
製品寸法	(約)W450×D400×H1150~1460mm
本体重量	(約)7.5kg
定格電圧/定格周波数	100V 50/60Hz
消費電力	24W
電源コード	(約)1.8m
リモコン電池	リチウム電池(CR2032/3V)×1個
首振り角度	左右:(約)75度自動 上下:(約)22度(上:14度/下:8度)手動
材質	本体:ABS,PP 羽根:AS 重り:PE+セメント ガード・ポール:スチール

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

長期使用製品安全制度に基づく本体表示

本体に表示している【設計上の標準使用期間】とは、経年劣化により危害の発生が高まることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた内容の表示を行っています。


○設計上の標準使用期間とは？

右記の標準的な使用条件の下で、適切な取扱い、適切な維持管理により、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準期間を記しています。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証する期間ではありません。無償保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

○ご注意

(社)日本電機工業会が規格化した基準条件で算出した目安期間ですので、使用頻度、使用環境、業務用などで使用すると、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化する可能性があります。

 注意	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。点検のご用命は弊社アフターサービス部までご連絡ください。
--	---

(社)日本電機工業会自主基準 HD-1116-3による【扇風機】

環境条件	電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	温度/湿度	30°C/65%±20%
	設置場所	取扱説明書による標準設置
負荷条件		定格負荷(風速)
想定時間など	運転時間	8時間/日
	運転回数	5回/日
	運転日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合には、お買上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

1.修理を依頼される時

- * 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買上げ販売店にご持参、または弊社に連絡ください。保証書の記載内容により無料修理致します。
- * 保証期間が過ぎている時は、弊社に連絡の上、ご相談ください。
- * 保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、又は語句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

2.補修用性能部品の保有期間

- * この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後8年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.保証書について

- * 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- * 保証期間はお買上げ日から1年間です。

アフターサービスのお問い合わせ

ご連絡していただきたい内容

- 品名
- 品番
- お買上げ日
- 故障の状況（できるだけ具体的に）



QRコード

修理に関するお問い合わせ
アフターサービス等



0120-350352

営業時間：(平日) 月曜日～金曜日
※祝祭日を除く

午前 10:00～11:30
午後 1:00～ 5:00

- *1. 携帯電話・PHSからご利用できます。
- *2. 混雑時には繋がりにくい場合があります。時間を置いてからお掛け直してください。

廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。